sousei akita
曹青秋田

・平成２６年度　通常総会報告　・弁道会
・第７回　祈りのつどい　・住職学研修

第七回　祈りのつどい

大切な人を自死で失った方々のための『第七回　祈りのつどい』が六月二十九日（日）午後一時より、秋田市金足・東泉寺様を会場に開催されました。

当日は約二十名の秋曹青会員が集まり、秋田グリーフケア研修会代表の涌井真弓さんから、スタッフの心得や茶話会に関する事前研修を受けました。

午後一時からは、ご供養の為の歎仏法要を執り行なわれ、礼拝を繰り返す厳かな法要に涙ぐむ参加者の姿も見られました。法要後、長年自死問題に取り組んでおられる藤里町月宗寺住職、袴田俊英老師より参加者にご法話をして頂きました。

茶話会ではお茶とお菓子を頂きながら、会員青年僧や同じ苦しみ・悲しみを持つ他の方との想いを分かち合う時間を持っていただきました。今回の参加者は多くは有りませんでしたが、「お話が出来、感情を出せてすっきりした。ありがとうございました。」というご感想もいただきました。

【Ｐ７に関連記事を掲載】

「二年目を迎えて」

第十八期　秋田県曹洞宗青年会
会長　鈴木　泰賢

現執行部になり「神仏習合」を研修テーマに、神道の本質、曹洞宗と神道の関わり、修験道と研修を続けてまいりましたが、六月の弁道会においては地元に目を向け「秋田の民族信仰と神仏習合」と題し、秋田県民俗学会副会長の齊藤壽胤氏より講習を頂きました。秋田県各地に護符の残る元三大師（がんざんだいし）とオディスコ様（大師講）様の信仰や、涅槃図に関する様々な伝承、桃太郎と若水との関連性について等々、我々にとっても身近で非常に興味深い講習となりました。

また六月二十九日には、東泉寺様を会場に「祈りの集い」を開催致しました。月宗寺袴田俊英老師が当会の会長当時に自死遺族に対しての心のケアを目的に初めて開催した企画ですが、今回で七回目を数えました。また、祈りの集いに引き続き袴田俊英老師を講師に住職学研修を開催致しました。神仏習合とは趣向は変わりますが、地元の問題として自殺率の高い秋田県の現状について講習を頂きました。秋田県の自死者は様々な活動の成果により年々減少しているとのことですが、残念ながら未だ自殺率一位の地位は変わっておらず、今後は県民性や考え方を変えていくべき等、様々な示唆に富んだ講習となりました。

まだまだ先と思っていた東北大会ですが、いよいよ三ヶ月後となりました。講師に作家の竹田恒泰氏を迎え、「神仏習合」というテーマを通して日本人の精神性や本質、宗教観を考察する集大成となるような大会を目指して鋭意準備中です。この度、協賛頂きました御寺院様には心より御礼申し上げますと共に、今後とも当会に対しまして更なるご指導、ご協力賜わりますよう紙面をお借りしてお願い申し上げます。

平成二十六年度　通常総会

四月四日（金）午後三時三十分より、秋田キャッスルホテルを会場に平成二十六年度の通常総会が会員三十二名参加のもと開催されました。

平成二十五年度活動及び決算報告並びに平成二十六年度活動計画案・予算案などが審議され、承認されました。また、秋に予定されている東北地方集会「秋田大会」の事業計画・予算案が審議、承認されました。

議長の赤石基彦師（中央）

平成25年度　秋田県曹洞宗青年会事業報告・ボランティア活動報告

日　付	内　容	場　所	備　考
	平成25年		
4月1日	通常総会	宗務所・禅センター	35名出席
4月4日	東北地協：常任・定例幹事会	会津若松ワシントンホテル	7名出席
4月23日	第１回　代議員会	宗務所・禅センター	26名出席
5月13日	全曹青：定期評議員会	曹洞宗檀信徒会館	会長出席
5月14日	全曹青：定期総会・中央研修会		
6月24日	第２回　代議員会	宗務所・禅センター	19名出席
6月24日	第２７回　弁道会 「神道と日本人」 菅野覚明先生	宗務所・禅センター	45名参加
7月1日	「曹青秋田」第７５号発行		
7月28日 ～30日	**ボランティア活動** 男鹿なまはげ教室　with　ふくしまKIDS	男鹿市・雲昌寺様 温泉旅館ゆもと　他	参加者29名 スタッフ40名 内会員29名
9月5日	第３回　代議員会	宗務所・禅センター	22名出席
9月11日	**ボランティア活動** 吉祥寺様主催：大槌町慰霊行脚	岩手県大槌町・吉祥寺様	6名参加
10月2日	第３１回　随聞会 「曹洞宗と神道」 龍泉寺住職　佐藤俊晃老師	宗務所・禅センター	43名参加
11月13日	全曹青：臨時評議員会・研修会	曹洞宗檀信徒会館	会長出席
11月19日	東北地協：常任幹事会	福島県郡山市 郡山ビューホテルアネックス	会長出席
	東北地方集会：福島大会		14名参加
	平成26年		
2月12日	東北地協：常任幹事会	ホテルグランテラス仙台国分町	会長出席
2月19日	住職学研修 「修験道について　～その信仰と形態～」 長谷部八朗先生	宗務所・禅センター	45名参加
3月10日 ～11日	**ボランティア活動** 全曹青：慰霊逮夜法要、他	福島県伊達市・成林寺様 岩手県大槌町・吉祥寺様 岩手県山田町・龍泉寺様	13名参加
3月17日	第４回　代議員会	宗務所・禅センター	23名出席
3月25日	「曹青秋田」第７６号発行		

□は秋曹青主催事業

平成25年度秋田県曹洞宗青年会収支決算書

自　平成２５年　４月　１日
至　平成２６年　３月３１日

総収入	1,933,976
総支出	1,626,350
収支残高	307,626

収入の部　　単位：円

項　目	25年度予算額	25年度決算額	増　▲減	摘　要
1　会費	1,170,000	1,209,000	39,000	
1．年会費	715,000	675,000	▲ 40,000	5,000円×135名
2．賛助会費	455,000	534,000	79,000	
2　補助金	500,000	500,000	0	宗務所補助
3　寄付金	1,000	0	▲ 1,000	
4　雑収入	1,172	148	▲ 1,024	受取利子
5　繰越金	224,828	224,828	0	前年度繰越金
合　計	1,897,000	1,933,976	36,976	

支出の部

項　目	25年度予算額	25年度決算額	増　▲減	摘　要
1　事業費	1,080,000	846,659	▲ 233,341	
1．研修費	700,000	632,679	▲ 67,321	弁道会176,259、随聞会178,000 住職学148,420 福島大会補助130,000
2．広報	380,000	213,980	▲ 166,020	名簿・会報印刷、HP運営他
2　事務費	230,000	163,870	▲ 66,130	
1．事務記録費	30,000	30,115	115	曹青封筒、事務用品等
2．通信費	130,000	89,860	▲ 40,140	各種案内発送等
3．交際費	50,000	42,995	▲ 7,005	祝賀２件他
4．慶弔費	20,000	900	▲ 19,100	祝電
3　事務局費	40,000	40,000	0	事務機器使用経費
4　会議費	40,000	25,821	▲ 14,179	
1．総会	20,000	20,000	0	総会補助
2．役員会	20,000	5,821	▲ 14,179	代議員会
5　負担金	200,000	185,000	▲ 15,000	全曹青会費、東北地協会費
6　補助金	230,000	315,000	85,000	出向補助、参加者補助
7　積立金	50,000	50,000	0	東北大会準備金
8　予備費	27,000	0	▲ 27,000	
合　計	1,897,000	1,626,350	▲ 270,650	

東北大会準備金

積立残高	2,588,000
平成24年度積立額	50,000
合　計	2,638,000

平成25年度秋田県曹洞宗青年会特別会計（ボランティア活動支援金）収支報告書

自　平成２５年４月　１日
至　平成２６年３月３１日

総収入	1,101,352
総支出	602,126
収支残高	499,226

収入の部　　単位：円

項　目	適　用	金　額
繰越金	前年度繰越金	325,107
寄付金・協賛金	秋田県宗務所様	150,000
	東北地協様	80,000
	全曹青様	10,000
	能代市　長慶寺様（計10回）	405,099
	秋田市　天徳寺様	101,781
	能代市　清徳寺様	29,276
雑収入	貯金利子	89
合　計		1,101,352

支出の部

項　目	摘　要	金　額
事業費	男鹿なまはげ教室会計へ繰出し	99,537
活動費	25年9月大槌慰霊行脚交通費補助	12,000
	26年3月福島岩手震災慰霊行事交通費・宿泊費補助	224,050
消耗品費	行茶菓子	3,879
事務通信費	郵送料、振込手数料	210
交際費	慰霊行脚・慰霊法要献香、献花・供物代	42,450
寄付金	秋田県大雨災害義援金	100,000
	福島震災慰霊法要協賛金	20,000
	3.11いわて沿岸地域応援募金	100,000
合　計		602,126

チャリティTシャツ関連会計　収支報告書

自　平成２５年４月　１日
至　平成２６年３月３１日

単位：円

収支分類	摘　要	金　額
収入	前年度繰越金	242,386
	今年度売上（62枚：県北梅花大会）	124,000
	貯金利子	19
支出	APE（大槌）へ台風見舞	-30,000
差引残高		336,405

平成26年度　秋田県曹洞宗青年会事業、活動計画

日　付	内　容	場　所	備　考
	平成26年		
4月4日	通常総会	宗務所・禅センター	
4月10日	東北地協：常任・定例幹事会	秋田キャッスルホテル	
4月22日	第１回　代議員会	秋田市　遊学舎	
5月20日	全曹青：定期評議員会　４０周年記念式典	曹洞宗檀信徒会館	
5月21日	全曹青：４０周年記念講演　定期総会		
6月3日	第２８回　弁道会 「秋田の民俗信仰と神仏習合」 齊藤壽胤　氏（秋田県民俗学会副会長）	宗務所・禅センター	
6/25日 ～26日	全曹青:40周年記念事業　東北管区・傾聴研修会	福島市　ホテル辰巳屋	
6月29日	住職学研修	秋田市　東泉寺	
	祈りのつどい		
10月29日	東北地協：常任幹事会	秋田キャッスルホテル	実行委員会・秋曹青
	東北地方集会「秋田大会」		
12月	第３２回　随聞会		
	平成27年		
2月	東北地協：常任幹事会		
3月	研修旅行		

※　災害復興支援ボランティア活動と代議員会の開催、会報「曹青秋田」の発行は随時行う

□は秋曹青主催事業

平成26年度秋田県曹洞宗青年会収支予算書

自　平成２６年　４月　１日
至　平成２７年　３月３１日

総収入	2,019,000
総支出	2,019,000
収支残高	0

収入の部　　単位：円

項　目	２５年度予算額	２６年度予算額	増　減	摘　要
1　会費	1,170,000	1,209,000	39,000	
1．年会費	715,000	675,000	▲ 40,000	5,000円×135名
2．賛助会費	455,000	534,000	79,000	
2　補助金	500,000	500,000	0	宗務所補助
3　寄付金	1,000	1,000	0	
4　雑収入	1,172	1,374	202	受取利子等
5　繰越金	224,828	307,626	82,798	前年度繰越金
合　計	1,897,000	2,019,000	122,000	

支出の部

項　目	２４年度予算額	２５年度予算額	増　減	摘　要
1　事業費	1,080,000	1,100,000	20,000	
1．研修費	700,000	850,000	150,000	弁道会・随聞会・住職学等
2．広報	380,000	250,000	▲ 130,000	会報、HP運営
2　事務費	230,000	240,000	10,000	
1．事務記録費	30,000	40,000	10,000	事務用品等
2．通信費	130,000	130,000	0	各種案内発送等
3．交際費	50,000	50,000	0	祝賀等
4．慶弔費	20,000	20,000	0	電報等
3　事務局費	40,000	40,000	0	事務機器使用経費
4　会議費	40,000	40,000	0	
1．総会	20,000	20,000	0	総会補助
2．役員会	20,000	20,000	0	代議員会等
5　負担金	200,000	185,000	▲ 15,000	全曹青会費、東北地協会費
6　補助金	230,000	300,000	70,000	出向補助等
7　積立金	50,000	50,000	0	東北大会準備金
8　予備費	27,000	64,000	37,000	
合　計	1,897,000	2,019,000	122,000	

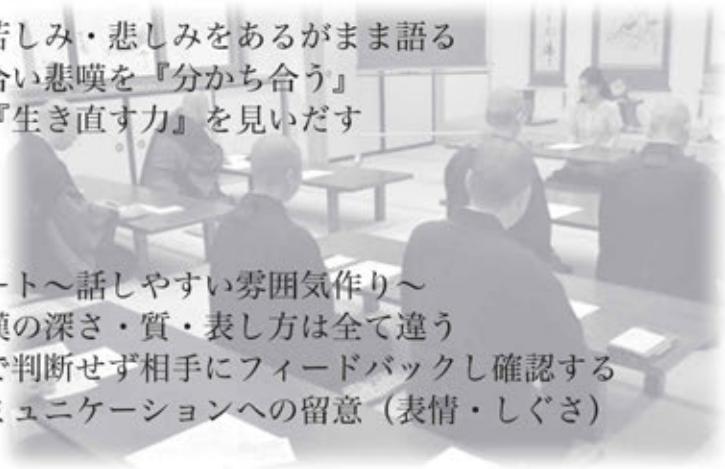
尚、各項目間の流用を認めるものとする。

大切な人を自死で失った方々のための　**祈りのつどい**

（第７回祈りのつどい事前研修資料より）

○自死による『喪失体験を語る集い』とは

１）自死による喪失の苦しみ・悲しみをあるがまま語る
２）遺族が遺族に向き合い悲嘆を『分かち合う』
３）喪失悲嘆を整理し『生き直す力』を見いだす

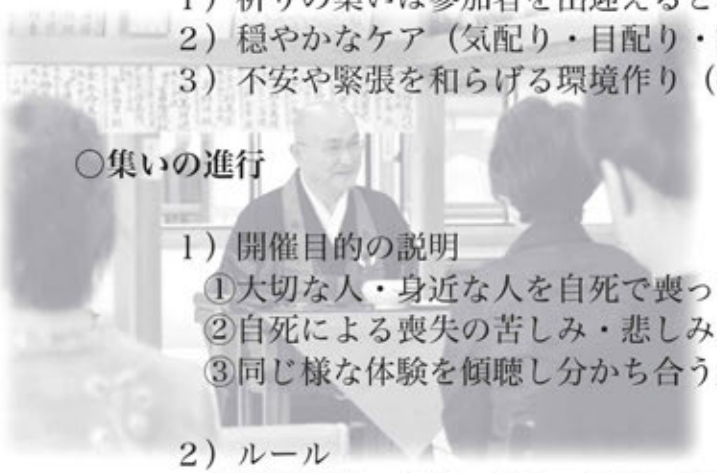


○スタッフの心得

１）集いのコーディネート～話しやすい雰囲気作り～
２）死別による喪失悲嘆の深さ・質・表し方は全て違う
３）言葉を推測や経験で判断せず相手にフィードバックし確認する
４）ノンバーバル・コミュニケーションへの留意（表情・しぐさ）
５）守秘義務の尊守

○開催準備

１）祈りの集いは参加者を出迎えるところから始まる
２）穏やかなケア（気配り・目配り・語りかけ・優しい微笑み）
３）不安や緊張を和らげる環境作り（行茶）



○集いの進行

１）開催目的の説明
①大切な人・身近な人を自死で喪った人の集い
②自死による喪失の苦しみ・悲しみをあるがまま語る集い
③同じ様な体験を傾聴し分かち合う集い

２）ルール
①守秘義務の尊守・語り・傾聴・沈黙の尊重
②悲しみを比べない・判断しない・説教しない
③話したくない人は話さなくても良い・途中退場可
④個人的に話したい人はスタッフが別室で対応する

３）自己紹介・参加動機・語りと傾聴
①最初にスタッフが自己紹介をする（名前・死別体験の有無）
②自己紹介では一人の人が時間を独占しないように配慮する
③語り・傾聴・分かち合い・祈り

弁道会

日時：六月三日（火）
　　午後一時四十五分より
会場：曹洞宗秋田県宗務所
　　・禅センター
講師：齊藤壽胤　先生
　　（秋田県民俗学会副会長）
演題：「秋田の民俗信仰と神仏習合」

今期の研修テーマ「神仏習合」に基づき、地元・秋田の民俗信仰について、齊藤壽胤先生をお招きした講義には四〇名を超える会員が集まりました。

先生は秋田県民俗学会副会長の他にも文化庁地域伝統文化総合活性化事業の監修をされるなど多岐にわたり活躍をされております。

民俗信仰を規定するには様々な要素が考えられますが、神道・仏教をその根底として神仏習合よりも複雑なものに感じられます。

講義の中では、県内で使われている方言の語源や地域に根差した行事・風習を採り上げて、県外の類似するものと比べながら多くの事例をご紹介いただきました。そして、それらは教義、教条ではなく供養、除災除厄や安定、豊かさを祈る気持ちが宗教的な方法を用いて実践されている姿であるとのことでした。

今秋は、県内各地を会場に国民文化祭のイベントが開催され、民族芸能の発表も行われます。民俗信仰について学ぶ一助として足を運んでみてはいかがでしょうか。

住職学研修（祈りのつどい併催）

日時：六月二十九日（日）
　　午後四時より
場所：秋田市金足　東泉寺様
講師：藤里町　月宗寺住職
　　袴田俊英　老師
演題：「かなしみのちから」

「第七回　祈りのつどい」に引き続き住職学研修が行われました。

秋田県の自死に関する現状について、人口比率ではまだ上位にあるものの、その数は減ってきている。また、社会の格差と孤立が生まれる背景となった資本主義の発生と宗教との関係。日本では原理主義的ではなく、社会と折り合いをつけながら仏教が発達してきたことにより、社会全体で弱い人を守っていくという思想が生まれ、そのための葬祭・布教が必要である。というお話でした。参加者一同、今日の行事を振り返りながらお話に熱心に耳を傾けました。

【Facebook】をご利用の方へ
「秋田県曹洞宗青年会」のページを作成しました。お知らせ、行事報告等掲載の予定です。
Facebook上で「秋田県曹洞宗青年会」で検索、「いいね」を押してご利用ください。

編集後記　弁道会研修の原稿を書きながら、祈りのつどいやボランティア活動も人間の想う気持ちから生まれる行動なのだと感じます。電子版では秋曹青活動がその都度掲載されていますので併せてご覧下さい。

曹青秋田　第77号
発　行　能代市字仁井田白山13　倫勝寺内
　　秋田県曹洞宗青年会
発行責任者　鈴木　泰賢
編集責任者　奥山　一英
秋曹青ホームページ　http://www.sousei-akita.net/